

〔追加資料1-1〕

主な基金の設置経緯等について

単位：千円

基金名称	設置経緯	設置時積立額			H19年度末現在高	
		内一般財源	内寄附金		寄附金総額	
公共施設等整備基金	庁舎と併せて大規模な公共施設についても、その整備を計画的かつ安定的に推進するため、資金の積み立てを行うことができるよう「庁舎等整備基金」の名称及び設置の目的を改正した。(昭和62年度改正)	100,000	100,000	0	137,577,755	0
大阪府営印刷所基金	府営印刷所の事業の健全な発達に資するため、昭和39年に基金を設置した。	3,106	3,106	0	462,270	0
文化振興基金	府庁屋上にあった「時の鐘」を地元(釣鐘町)へ里帰りさせるために寄せられた大日本除虫菊株からの寄附を契機に、大阪府文化問題懇話会の提言を踏まえて創設した。(昭和60年度)	78,769	0	74,212	2,011,167	444,708
女性基金	女性の自主的な活動を支援するとともに、「男女協働社会の実現をめざす大阪府第3期行動計画～女と男のジャンプ・プラン～」の推進を強化するため、平成3年10月21日に設置	100,000	100,000	0	3,074,489	17,915
なみはやスポーツ振興基金	平成9年の第52回国民体育大会の開催及び、スポーツの振興に要する経費に充てるため資金を積み立てるために設置。(平成6年度)	103,908	100,000	3,908	1,648,041	2,057,433
国際観光貿易施設基金	昭和32年3月 国際観光貿易施設特別会計設置(設置目的)国際見本市会館の第2期建設工事 昭和32年3月 国際観光貿易施設積立金制度可決(制度目的)将来における国際観光貿易施設、いわゆる国際見本市会館新館部分の整備を図る ※上記「特別会計」の貸付料の剰余金が原資 昭和39年3月 特別会計廃止 上記積立金(38年度末約22百万円)をもとに、国際観光貿易施設基金を設置 (設置目的)国際観光貿易施設の整備を図るため資金を積み立てる 平成12年3月 基金条例の設置目的を一部改正 (設置目的)国際観光貿易施設の整備を図り、及びその健全な運営に資するため資金を積み立てる	22,000	22,000	0	1,492,607	1,527,150
福祉基金	府民の社会福祉に対する善意の寄附金を、長く有効に活用させていただくため基金を設置し、府民の社会福祉活動の振興を目的として、昭和55年に設立。10年間で20億円の積立額を目標とし、平成元年度に積立目標額20億円(大阪府からの拠出金9億円を含む。)達成。 事業は、「地域福祉振興助成」として昭和56年度から府民が行う自主的な社会福祉ボランティア活動や地域福祉活動に助成。 また、平成元年度には、大阪府が拠出した180億円を原資に、その運用益等を財源とする「事業補助」を実施。鉄道駅舎エレベーター設置促進事業、リフト付き福祉タクシー整備事業、重度障がい者特例支援事業など、さまざまな事業に補助。	325,040	100,000	204,178	19,086,195	2,195,503
社会福祉施設職員福利厚生基金	昭和48年11月27日、松下電器産業株式会社より、創業55周年及び創業者松下幸之助氏会長引退を記念し社会福祉事業振興を目的として、本府に対し寄附(金137,000千円)を受けたことによる。本府としては、大阪府基金条例上「社会福祉施設に勤務する者の福利厚生の増進に要する経費にその運用から生ずる収益を充てるため資金を維持すること。」と定め運用を図っている。	137,000	0	137,000	137,000	137,000
ゆとり基金	平成2年 3月：大阪府産業労働政策推進会議が「都市型」「郊外型」のゆとりセンターの設置を提言。 平成3年11月：大阪府ゆとり創造推進本部の設置 平成5年 4月：大阪府ゆとり基金の設置 知事公約の「ゆとりセンター」を設置するためには、多大の資金を必要とするため、整備費及び運営費を基金として積み立てる。〔設立当初の事実上の目的〕	187,090	100,000	87,090	394,527	93,569
みどりの基金	昭和58年に市街地の緑化推進のため「大阪府緑化基金」を設置した。平成元年に緑化の推進に加え、府域の良好な自然環境の保全を事業目的として追加し、名称を「大阪府みどりの基金」に改称した。	100,000	49,318	50,682	8,901,433	809,040
環境保全基金	平成元年度の政府補正予算案で地域環境保全対策費補助が認められたことを受け、都道府県及び政令指定都市において、条例を改正し4億円以上の地域環境保全のための基金を設けるのであれば、2億円の国庫補助金を交付できる制度が設けられた。大阪府においては、大阪府基金条例を一部改正し環境保全基金を設置した。	401,000	200,000	1,000	1,837,815	1,017,779
府営住宅整備基金	平成4年度に、春宮住宅の用地処分収入(44億円)が見込まれていたため、府営住宅用地の取得及び公共賃貸住宅総合再生事業のために基金を創設。 平成15年度に、公営住宅ストックの円滑な更新を目的として、府営住宅の整備費にも充当できるよう基金条例を改正。	100,000	0	0	18,651,208	0

※「寄附金総額」の欄は、当初積立時から平成19年度末までの受入総額を記入。